

【樹木の部屋】

ゴヨウマツ（マツ科マツ属 *Pinus parviflora*）

和名：ゴヨウマツ（五葉松） **別名**：ヒメコマツ（姫小松）

英名：Japanese White Pine、Five leaved pine

マツ目 常緑高木 **原産地**：日本

花言葉 不老長寿、永遠の若さ、向上心 **花の色**：



← 写真-1 ゴヨウマツ
撮影日：2016年05月21日
撮影場所：上賀茂神社
（京都市）にて
撮影者：M さん

↓ 写真-2 ゴヨウマツの幹
撮影日：2016年05月21日
撮影場所：上賀茂神社
（京都市）にて
撮影者：M さん



← 写真-3 ゴヨウマツ
撮影日：2015年02月28日
撮影場所：備中国分寺
（岡山県総社市）にて
撮影者：M さん



← 写真-4 ゴヨウマツの葉

撮影日：2015年02月28日

撮影場所：備中国分寺

(岡山県総社市)にて

撮影者：M さん

写真1、2は京都市上京区にある上賀茂神社、写真3、4は岡山県総社市にある備中国分寺を訪れた際、見かけました。

ゴヨウマツ(五葉松)の由来は、一箇所から葉が五本出るところから・・・。銀色がかった葉が美しく、成長が遅い上、木質が柔軟で枝を曲げやすいため、盆栽に使われることが多い樹木です。日本固有の植物。和風の庭に使われることが圧倒的に多く、産地によって葉の形が微妙に異なり、産地の名前を冠して「〇〇ゴヨウ」と呼ばれています。「吾妻五葉(福島市)」、「那須五葉(福島県那須地方)」、「四国五葉(四国中央市)」は三大五葉松と呼ばれている五葉松の園芸産地です。また、成長が遅く、美しく育てるには時間と費用がかかるため、大きなゴヨウマツは庭木としての価値が高いそうです。

ゴヨウマツは品種が多く、大別すると北海道産の「北方種」と本州以南の「南方種」に分けられ、これとは別に、日本海側に自生する「キタゴヨウ」というものもあるそうです。俗的には葉が短いものをヒメコマツ、葉が長いものをゴヨウマツとする見分け方もありますが、明確ではないそうです。また、チョウセンゴヨウはゴヨウマツより葉が相当長く、成長も早いため、見た目が明らかに異なるそうです。どうやら、上賀茂神社のゴヨウマツは、チョウセンゴヨウのようです。その他、ジャノメゴヨウ、フイリゴヨウ、シマジロゴヨウなど、葉に模様が入る種類があり、人気も高いそうです。